

電子黒板比較表

	SMART製	ナリカ製	日立製	Panasonic製	内田製	EPSON製	パイオニア製
電子黒板のタイプ	ボード型	ボード型	ボード型	ボード型	ユニット型	ユニット型	テレビ型
画面表示方法	プロジェクター	プロジェクター	プロジェクター	プロジェクター	プロジェクター	プロジェクター	テレビ
影が映りづらい	○	○	○	○	×	×	-
指で操作が可能※1	○	×	○	○	×	×	○
専用電子ペンが不要※2	○	×	×	×	×	×	×
書くまでのアクション数※3 1. ペンを取る ↓ 2. ペンツールを選択する	1	1 → 2	1 → 2	1 → 2	1 → 2	1 → 2	1 → 2
画面サイズ(インチ)※4	64' 77' 87' 94'	77' 87' 95'	77' 88'	77' 86'	約80' (黒板投射時 ・黒板サイズ H:1200で計算)	約80' (黒板投射時 ・黒板サイズ H:1200で計算)	50'
授業用素材集の数	7,000種類	3,000種以上	3,000種以上	不明	不明	200種以上	不明
動画への書き込み	○	×	×	×	×	×	×
専用ソフトへの動画の挿入	○	×	×	×	×	×	×
pdfファイルへの変換	○	○	○	○	×	×	×
全てのアプリケーションへの書き込み※5	○	×	×	×	×	×	×
タスクバーの表示※6	○	×	×	×	×	×	×
アニメーション効果	○	×	×	×	×	×	×
レコーダー機能	○	×	×	○	×	×	×
ソフトのアップデート頻度	頻繁	頻繁	不明	不明	不明	不明	不明
ソフトライセンス使用料※7	フリー	機器価格に含まれる(ダウンロード不可)					
書きやすさ※8	○	○	△	△	×	×	×
世界シェア	50%	21.50%	4.10%	0.90%	-	-	-
コスト※9	△	△	△	△	○	○	△
無償保証期間	5年間	5年間 (電子部品は除く)	1年間	1年間	不明	不明	不明

この比較は主にカタログやホームページなどの情報に基づいており、その内容に責任は負いかねますので御了承下さい。

- ※1 書き込む際はペンを使用するのが一般的であるが、その他の操作を指で行えるので利便性に長ける。
- ※2 専用電子ペンの場合、電池切れ・落下故による授業の中断の恐れがある。また、1本数万円と高価である。
- ※3 利用頻度の一番高い「書く」という動作をワンアクションで行える。
- ※4 通常の普通教室では、後方の生徒が電子黒板が見えないため、70インチ~80インチがよく選ばれる。
- ※5 PDF・ブラウザ・デジタル教科書・officeソフト等、PC画面で表示できる全てのアプリケーションに書き込むことが可能である。
- ※6 タスクバーが表示されることでアプリケーションの切り替えをスムーズに行うことができる。
- ※7 フリーであると教師の自宅のPCにもインストールが可能である。
- ※8 黒板上にチョークで書いた印象に近いものを上位としている。
- ※9 ボード型タイプの価格についてはほぼ差はない。